

第二回阿哲台洞窟談話会報告

植野智大 (UENO, Tomohiro) ・ 宮岡恒平 (MIYAOKA, Kohei)
 内橋賢吾 (UCHIHASHI, Kengo) ・ 木村紘也 (KIMURA, Hiroya)
 うきぐもケイビングクラブ所属

1. はじめに


阿哲台(あてつだい)は、岡山県新見市の中南部及び真庭市南西部一帯にかけて広がるカルスト台地である。本地域における談話会は、2015年3月に第1回が開催され、約2年越しの第2回目開催となった。

2. 開催の背景

2015年10月に植野が副会長を務める「うきぐもケイビングクラブ」が立ち上がり、以来、阿哲台では地域住民や学生探検部等と協働しながら調査活動を進めてきた。このような中、地域振興団体である「草間台エコミュージアム」様から、地域住民参加型の洞窟関連イベント開催の要望を当クラブに頂いたところから、第2回の「阿哲台洞窟談話会」を企画するに至った。本会では、学生団体を対象とする救助講習を重点的に行うことで、洞窟探検活動における安全認識の共有等を図った。

3. 日程、企画内容及び参加者

9月16日：救助講習、SRT講習、洞窟講演会
 9月17日：各種講習、地域巡検、談話会、懇親会



**第二回 阿哲台洞窟談話会
洞窟講演会**

日時
 平成29年
9/16(土)
 19:00~20:20

入場無料

1 「阿哲台での活動報告/写真紹介」
 木村 紘也 (うきぐもケイビングクラブ 会長)

2 「阿哲台における學術調査/今後の展望」
 岡田 美和 (うきぐもケイビングクラブ)

3 「草間台地域の魅力/洞窟活動における注意点」
 杉 秀樹 (草間台エコミュージアム)

主催：うきぐもケイビングクラブ
 共催：日本洞窟学会 後援：草間台エコミュージアム

⇒お問合せ先
 主催：うきぐもケイビングクラブ
 (ukigumo.cave008@gmail.com)

場所
 大原サブセンター
 岡山県新見市草間1844-4

第二回阿哲台洞窟談話会 洞窟講演会のポスター

洞窟講演会は公開行事としてポスターを作成し、地域回覧板等により周知を図って頂いた結果、当日は30名を超える地域の方々にご聴講頂いた。2日目は当初、洞窟巡検を予定していたが、折しも台風18号が接近中であり荒天が予想されたため、予定を変更して地域巡検等を実施した。

東京スペレオクラブ、近畿大学探検部、大阪大学探検部、大阪市立大学探検部、岡山大学ケイビングクラブ、山口大学洞穴研究会、九州大学探検部などから50名程度参加した。

4. 救助講習、SRT講習

救助講習初級、中級、SRT初級、中級に分かれての「土橋の穴」洞口近辺やカルスト山荘展望台で訓練を行う予定であったが、あいにくの荒天により、草間台エコミュージアム横の体育館内で訓練を行った。また、2日日も荒天のため観光洞の巡検と、初日の続きで訓練を行うものに別れて訓練を実施した。

・救助初級

本来、「土橋の穴」洞口近辺で行う予定であったが、先述の通り荒天により体育館に移動した。基本的な救助の心構え、レスキューシーターの使い方やサバイバルポイントの設営などを講習。支点不足のため座学のみであった。

座学講習ののち、担架のSKEDを用い、救助者の載せ方、担架の包み方、搬送方法を講習した。搬送方法の講習では、実際の現場であり得る狭窄部や天井低い場所、坂の上り下りの仕方などを講習した。また、受講者にはルートファインディングや指揮者などの役割を体験してもらった。

担架搬送を一通り体験してもらった後は、洞内で用いるロープワークなどの講習を行った。

・救助中級

初級同様、「土橋の穴」から体育館へ変更し、体育館の手すりなどを用い、Z-rigの設置方法を講習。そののち、チロリアンブリッジの設置方法を講習し、実際に設置を行った。手すりの強度からして人を搬送することはできなかったが、ザックを用いてムービングプーリーの講習を行い、模擬的にチロリアンブリッジを活用した担架の搬送を行った。

・SRT初級

SRT装備について、SRTの考え方など、基礎的な内容を座学にて講習。講習ののち、体育館の手すりを利用し、単純な昇降を講習した。単純な昇降に問題が無くなり次第、順次リビレイやディビエーションの越え方の実地訓練を行った。